

事業所名 児童発達支援 (株)BLUESTAR あおいほし2nd

児童発達支援支援プログラム

作成日 令和8年 3月 27日

法人(事業所)理念	一人ひとりがかけがえのない存在として生きること		
支援方針	一人ひとりの発達段階や特性、家庭環境を踏まえ、児童が日常生活や社会生活を円滑に営むことが出来るよう支援していく		
営業時間	学校日	10時0分から	19時0分まで
	学校休業日	9時0分から	18時0分まで
送迎実施の有無		あり なし	
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の維持や改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得のための支援。 自分の体の異常(痛み、かゆみ、発熱など通常と異なる状態)について、自身で周りの大人に伝えられるよう支援していく。 食事、排泄、睡眠、着脱、身の回りを整頓、清潔にすること等、基本的な生活習慣を身につけられるようにスモールステップで支援を行う。 食事は事業所で作った温かい食事を提供。口腔内機能、感覚等に配慮しながら、可能な限り個別に対応していく。 年齢に応じて、給食ナフキンやスプーン、フォーク、箸等を使用したり、自分で支度や片付けも出来るよう支援していく。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動、動作の向上、保有する感覚の統合的な獲得のための支援。 運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触を感じ、感覚の成長を支援していく。 室内や戸外での運動遊び、公園の大型遊具等での遊びを通して、体の動かし方を学び、運動の楽しさを感じると共に、運動能力の向上に繋げる。 水、砂、泥んこ遊び、ボディペインティング等の感覚遊びを通して、さまざまな素材の感触やにおい、音などを感じ五感を育めるよう支援していく。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防及び対応を支援していく。 大小、数、空間、時間、文字等の概念の形成を図り、認知・行動に活用していけるよう支援していく。 状況の変化への対応として、適応の難しさへの支援を行う。 	
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言語の受容と表出、言語の形成と活用を通して、コミュニケーションの基礎能力の向上や状況に応じたコミュニケーション能力の獲得を支援していく。 指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等、コミュニケーションの手段を選択・活用し、個々に合わせた視覚的な支援も取り入れていく。 要求、模倣、聴く等、自分と相手の相互関係があってコミュニケーションが成り立つということを学べるよう支援する。 	
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 模倣遊びやルールのある遊び等を通して、仲間と共に参加する喜びやルールを守る大切さを学びながら、社会性の発達を支援していく。 アタッチメント(愛着)の形成と安定を図り、環境や人に対する安心感や信頼感、自分に対する自己肯定感を育めるよう支援する。 待つ、譲る等、相手を想い、自分の気持ちをコントロールする力を育めるよう支援する。 	
家族支援	<p>ご家族との情報交換を行い、支援内容について確認していく</p> <p>ご家族の想いに寄り添った支援内容を検討し、個別支援計画に反映していく</p>	移行支援	<p>保育所、幼稚園、放課後等デイサービスへの移行支援</p> <p>ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備</p>
地域支援・地域連携	<p>こども食堂、美容師によるヘアカット等を地域の方々に向け発信し、保護者同士の情報交流や地域の方との繋がりを深める取り組みを行う</p>	職員の質の向上	<p>放課後等デイサービスガイドライン等の手引き書を使っての学習会、実地訓練、外部講師による勉強会、セルフチェックシートの入力チェック、支援会議にて支援内容の評価や修正を行う。</p>
主な行事等	<p>誕生会、お花見、遠足、公園遊び、工場や科学館等見学や体験、プール遊び、夏祭り、七夕祭り、流しそうめん、お買い物体験、ハロウィン、クリスマス会、大掃除、正月遊び、節分遊び、ひな祭り等のイベント体験等</p>		